職業実践専門課程等の基本情報について

日本工学院八王子					校長名					
	専門学校	昭	日和62年3月27	7日	中村 英詞	(住所)	92-0983 東京都八王子市片倉町1404	4番地1他		
設置者名		=	设立認可年月	日	代表者名		42-637-3111	所在地		
学校法人片柳雪	学園	旺	四和31年7月10	0日	千葉 茂		44-8650 東京都大田区西蒲田5丁目:	23番22号		
分野		認定課程名	i	認定	学科名		3-3732-1111 門士認定年度	高度専門士認定年	度 職業	実践専門課程認定年度
文化·教養		芸術専門課程	埕		ソ健康学科 ・ジネスコース	平成	25(2013)年度	-		平成27(2015)年度
学科の目的	タッフやプロ シーンで役 につけ、業	1をめざします。 に立つ資格の 界から必要とさ	。在学中から2)取得対策や、 される人材を配	スポーツショップでの 国際化に対応する 育成することを目的	か販売やスポーツ ための英語の授 としています。	/イベントの企画を糸 業も用意しています	ジメント、スポーツ観光、出版 怪験することで、スポーツの野 。ICTを軸にビジネススキノ	見場の臨場感と興奮を実感 レや発想力といった専門力	終しながら実践的に学	習。また、多彩なビジネス
資格、中退率等)	中退率:09	6 T					こ、ビジネス能力検定ジョブ			1
修業年限	昼夜	全課程の修 ※単位時間		総授業時数又は総 1,700 単位		講義 ,290 単位時間	演習 120 単位時間	実習 1,050 単位時間	実験 の 単位時間	実技 480 単位時
2 年	昼間	れかに記入		単位		単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒	実員(A)	留学生数	(生徒実員の内数	(B) 留学	生割合(B/A)	中退率			
80 人の内数	3:	9 人		0 人		0 %	O %			
	■卒業者数		:		14	<u> </u>				
	■就職希望 ■就職者数	(E)	:		14	<u> </u>				
	■地元就職 ■就職率(9	人				
			: t職者の割合	(F/E)	00	%				
					69	%				
	■쑤茉者に	-ロのる就職者	香の割合 (E/C)	93	%				
就職等の状況	■進学者数	Ţ			0	,				
	■その他									
	ガビオ(株) /	ARCMART (#	ドバラブナクト	ミブノスポーツサー	−ドフ STEDIAD	AN Birth/17 Foch	una columbia MD&C			
第三者による 学校評価	■民間の割	価機関等から 、例えば以下	ら第三者評価: について任意	記載	88 24 1 4		ıry、columbia、MP&C 有	証価結里を掲載した		
	■民間の割	価機関等から	ら第三者評価: について任意	記載活動法人 私立専	88 24 1 4	AN、Birth47、Fosbu 月:平成26年3月		評価結果を掲載した ホームページURL		
	■民間の割 ※有の場合	平価機関等から 、例えば以下 評価団体:	ら第三者評価 について任意 特定非営利 等評価研究	記載活動法人 私立専	門学校 受審年					
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ら第三者評価: Fについて任意 特定非営利 等評価研究: department/sp	: 記載 活動法人 私立専 機構	門学校 受審年					
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ら第三者評価: について任意 特定非営利 等評価研究 department/sp	: 記載 活動法人 私立専 機構 ports/health/busin	門学校 受審年 BSS/	月:平成26年3月			2,940 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	b第三者評価 にこついて任意 特定非営利 等評価研究 department/sg	: 記記載 活動法人 私立専 機構 ports/health/busin	門学校 受審年 ess/ as・実技の授業時	月:平成26年3月			0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	b第三者評価・ にこついて任意 特定非営利 等評価研究・ department/sp	記載 活動法人 私立専 機構 ports/health/busin ・連携した実験・実行 連携した実験・実行	門学校 受審年 ess/ as・実技の授業時	月:平成26年3月			0 単位時間 240 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	b第三者評価 にこついて任意 特定非営利 等評価研究 department/sg	記載 活動法人 私立専 機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 業時数	門学校 受審年 ess/ ョ・実技の授業時 業時数	月: 平成26年3月	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	b第三者評価・ にこついて任意 特定非営利 等評価研究・ department/sp	活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授業時数 うち企業等と連携。	門学校 受審年 ess/ ョ・実技の授業時 業時数 した必修の実験・	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の評 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp) では、 うち企業等と うち必修授者	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	門学校 受審年 ess/ 習・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業6 の授業時数	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の割 ※有の場合 https://ww	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp) では、 うち企業等と うち必修授者	活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授業時数 うち企業等と連携。	門学校 受審年 ess/ 習・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業6 の授業時数	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	・ (価機関等から、例えば以下 評価団体: 評価団体: wneecacjp/c	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp) では、 うち企業等と うち必修授者	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	門学校 受審年 ess/ 習・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業6 の授業時数	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp うち企業等と うち必修授乳 (うち企業等	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	門学校 受審年 ess/ 習・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業6 の授業時数	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	・ (価機関等から、例えば以下 評価団体: 評価団体: wneecacjp/c	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp うち企業等と うち必修授乳 (うち企業等	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 と連携したインター	門学校 受審年 BY - 実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の レンシップの授業用	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業 の授業時数 時数)	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp うち企業等と うち企業等と (うち企業等と うち企業等と	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 と連携したインター	門学校 受審年 留・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の ンシップの授業用	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業 の授業時数 時数)	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 と連携したインター	門学校 受審年 留・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習の ンシップの授業用	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業 の授業時数 時数)	有		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 世位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp うち企業等と うち企業等と (うち企業等と うち企業等と	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 と連携したインター 連携した実験・実 連携した演習の授 と連携した演習の授	門学校 受審年 855/ 31・実技の授業時数 した必修の実験・ した必修の演習 ンシップの授業時 21・実技の授業時数	月: 平成26年3月 数 数 実習・実技の授業の 力授業時数 等数)	特数		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 世位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 と連携したインター 連携した実験・実 連携した演習の授 乗時数	門学校 受審年 855/ 留・実技の授業時数 した必修の実験・ した必修の演習 ンシップの授業時 業時数	月: 平成26年3月 数 数 実習・実技の授業の が 特数) 数 実習・実技の授業の を表 数	特数		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A, BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 と連携したインター 連携した演習の授 連携した演習の授 連携した演習の授 連携した演習の授 等と連携した方質習の授 等 の 連携した演習の授 の が が が うち企業等と連携 と 連携した演習の授 の が が が が うち企業等と連携 と 連携した が の が が が が うち企業等と連携 と 連携した が うち企業等と連携 と 連携した が うち企業等と連携 と うち企業等と 連携 と うち企業等と 連携 と うち企業 を うちを を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	門学校 受審年 留・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習 ンシップの授業時 業時数	月: 平成26年3月 数 数 実習・実技の授業の が対象 数 数 実習・実技の授業の の授業時数	特数		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A, BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	不価機関等から、例えば以下 評価団体: wneecacip/c 能授業時数	の第三者評価。 について任意 特定非営利 等評価研究。 department/sp うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 と連携したインター 連携した実験・実 連携した演習の授 乗時数	門学校 受審年 留・実技の授業時 業時数 した必修の実験 した必修の演習 ンシップの授業時 業時数	月: 平成26年3月 数 数 実習・実技の授業の が対象 数 数 実習・実技の授業の の授業時数	特数		0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等から、 解析の 解析の 解析の による 算定 を を を を を を を を を を を を を	の第三者評価。 (まででは、 (までは、) 等評価研究。 (までは、) 等評価研究。 (までは、) では、) では、) では、 (までは、) では、) では、) では、) では、 (までは、) では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、)	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実 連携した演習の授 終時数 うち企業等と連携 と連携したインター 連携した演習の授 連携した演習の授 連携した演習の授 連携した演習の授 等と連携した方質習の授 等 の 連携した演習の授 の が が が うち企業等と連携 と 連携した演習の授 の が が が が うち企業等と連携 と 連携した が の が が が が うち企業等と連携 と 連携した が うち企業等と連携 と 連携した が うち企業等と連携 と うち企業等と 連携 と うち企業等と 連携 と うち企業 を うちを を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業 の授業時数 特数) 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数)	特数	ホームページURL	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等からで、例えば以外に 評価では、例えば以外に w.neecacip/c 間による算定 定と が表現では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の第三者評価。 (まででは、 (までは、) 等評価研究。 (までは、) 等評価研究。 (までは、) では、) では、) では、 (までは、) では、) では、) では、) では、 (までは、) では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、)	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin 連携した実験・実活連携した演習の授業等と連携 うち企業等と連携 たは実験・実活連携したインター は連携した大変習の授業 を連携した大変習の授業 を連携した大変である企業等と連携 たな業等と連携 たな業等と連携 たな業等と連携 たな企業等と連携 たな企業等と連携	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数) 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数)	有 特数	ホームページURL	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、BU・ず	■民間の割 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等が以下 ・ Manage and	の第三者評価では、 について任意、 特定非性のでは、 特定非性のでは、 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin に連携した実験・実活連携した実験・実活を主連携した大変を要等と連携 うち企業等と連携した大変の授業時数 うち企業等と連携した大変の授業時数 うち企業等と連携した大変を表したインター 連携した実験である。 まである。 までまできできできできできできできできできできできできできできできできできでき	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数) 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数)	特数 特数 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 11号)	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 単位 2 人	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携した実習等 素験施状況(A、Bいず れかに記入)	■民間の評 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等からで、例子のでは、例子のでは、例子のでは、例子のでは、例子のでは、Meccacipe 「このでは、Meccacipe 「このでは、Meccacipe 「ことを表する。」では、一般である。 「ことを表する。」では、 「ことを表する。ことを表する。 「ことを表する。」では、 「ことを表す	の第三者評価語 について任意 特許価研究 は中ではまり でも でも	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin :連携した実験・実活 連携した実験・支連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 と連携した大変 の授業 時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 数 実習・実技の授業: D授業時数 特数) が 数 (専修学 (専修学	特数 特数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 11号) 12号) (3号)	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上上位 単位 上上位 上上位	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携した実習等 大力がに記入)	■民間の評 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等から、 (本機関等から、 (本) 解価団体: (本) 解析団体: (本) 解析団体: (の第三者評価では、 について任意、 特定非性のでは、 特定非性のでは、 うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うち企業等と うちでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin :連携した実験・実活 連携した実験・支連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 と連携した大変 の授業 時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数) 数 集習・実技の授業: の授業時数 特数)	特数 特数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 11号) 13号) 14号)	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1	
学校評価 当該学科のホームページ URL 業等と連携した実習等 実施状況(A、Bいず れかに記入)	■民間の評 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等から、 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	の第三者評価語 について任意 特許価研究 は中ではまり でも でも	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin :連携した実験・実活 連携した実験・支連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 と連携した大変 の授業 時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数) 数 集習・実技の授業: の授業時数 特数)	特数 特数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 11号) 13号) 14号)	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 業等と連携した実習等 素験施状況(A、Bいず れかに記入)	■民間の評 ※有の場合 https://ww (A:単位時	価機関等から、 (本機関等から、 (本) 解価団体: (本) 解析団体: (本) 解析団体: (の第三者評価語 について任意 特許価研究 は中ではまり でも でも	記載 活動法人 私立専機構 ports/health/busin :連携した実験・実活 連携した実験・支連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 と連携した大変 の授業 時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携 っち企業等と連携	門学校 受審年 3 ・実技の授業時 3 ・実技の授業時 した必修の実験・した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 した必修の演業 はた必修の演業 はた必修の演業	月: 平成26年3月 数 実習・実技の授業: の授業時数 特数) 数 集習・実技の授業: の授業時数 特数)	特数 特数 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第 校設置基準第41条第1項第	ホームページURL 11号) 13号) 14号)	0 単位時間 240 単位時間 1,350 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1 単位 1	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

スポーツビジネス分野に関し、企業等と連携体制を確保してヒヤリングを実施し、実務に関する知識や必要とされる技術等を調査し、授 業科目等の開設などカリキュラムを年度ごとに見直す。そのため、学内外の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による年間を 通じた定期的な指導や評価を受ける体制をとることが可能な企業等をスポーツ関連業界より選定している。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長のもとに設置する会議の1つである。校長を委員長とし、学科責任者、学科から委嘱された業界団体及び 企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。審議の結果を踏まえ、校長、学科責任者、教育・学生支援部員で検討し次年度のカリキュラム編成へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
中山 哲郎	一般社団法人日本ツーリズム推進機構事務局長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	1
小川 和彦	藤越衣料株式会社代表取締役	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	3
島田 和茂	株式会社インターナショナルスポーツマーケティングセールスディレクター	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院八王子専門学校 校長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	-
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育·学生支援部 部長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	_
三樹 春幸	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	_
伊藤 茂彦	日本工学院八王子専門学校 科長	令和7年4月1日~令和8 年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (3月・8月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年09月04日 11:00~13:00

第2回 令和7年03月04日 13:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

スポーツビジネス分野で活躍できる人材教育として、PCスキル・動画作成・コミュニケーション能力を高める必要がある。イベント実習を通じてそれらを「感じ・学び」、日々の授業に落とし込む。学科の価値・強みを時代の流れやニーズとともにブラッシュアップし、カリキュラム構成・指導に反映する。学生が一つでも強く興味を持てる分野を体験を軸にカリキュラムを作り、活き活きとした明るく積極性のある人材を教育する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との打合せにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実 践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学内外の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による定期的な指導や評価を受ける体制をとることが可能な企業等をスポーツ関連業界より選定している。1年次においては、「スポーツプロジェクト1・2」にて、イベントの組み立て方を学び、発案力や協調性、そしてコミュニケーション能力を身に付け、オープンキャンパスなどでイベントを行ったり、プロスポーツチームとの連携で外部での実習を行う。2年次においては、「スポーツプロジェクト3・4」にて、スポーツビジネスの実践的な課題を実施する上で必要な基礎的な販売促進やマーケティング、地域連携、施設活用等に関する応用知識を学び、学生自身が自主運営できるような課題設定を行っている。プロスポーツチームとのコラボレーションイベントがメインとなり、担当者へのプレゼンテーションや、現場でのコミュニケーション能力、景品となるグッズ、デザイン制作を行い、企画終了後は、学生の学習評価を踏まえ、改善・工夫について、コラボ先企業や連携先企業と協議する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
スポーツプロジェクト 1・2	2. 【仪内】企業寺か	イベント企画・提案を行うための 基礎知識を身につけながら、レク リエーションアクティビティの企 画・提案を行い、実際に実施する ことで実践的なノウハウを身につ けます。	株式会社SVOLME

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容 や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の 向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

(公財)日本サッカー

研修名: スポーツ×IOT・ICT I 連携企業等: 協会

大塚慶輔

期間: 令和6年9月20日 10: 00-12: 00 対象: スポーツ教員

内容 遠隔での指導・商品紹介と使い方

(公財)日本サッカー

研修名: スポーツ×IOT・ICT II ~スポーツ界で求められる人材の育 連携企業等: 協会 大塚慶輔

...

期間: 令和7年3月3日10:00-12:00 対象: スポーツ教員

内容 遠隔での指導と実例

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 救急体制と対応について

国士館大学防災・救急

連携企業等: 救助総合研究所

曽根悦子

期間: 令和6年9月20日 16:00-18:00

対象: スポーツ教員

国士館大学防災・救急

研修名: スポーツ系学校における救急体制と対応について Ⅱ

プロスポーツチームのビジネス最前線1

①安全な学校生活の環境整備や体制 ②救急事例と対応

連携企業等: 救助総合研究所

曽根悦子

期間: 令和7年3月3日 14:00-16:00

対象: スポーツ教員

内容 ①救急事例と対応②救急対応と法的問題 ③職業教育を実施する教員として備えるべき救急対応に関しての能

(3)研修等の計画

研修名:

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

株式会社アルファーズ

連携企業等: 代表取締役社長

上原 和人

期間: 令和7年9月17日 15:00-17:00

対象: スポーツ教員

内容 ~B1チームの運営と取り組み~

研修名: プロスポーツチームのビジネス最前線2

株式会社アルファーズ

連携企業等: 代表取締役社長

上原 和人

期間: 令和8年3月を予定

対象: スポーツ教員

内容 ~B1チームの運営と取り組み~

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 学生の自立を促す指導1

国士舘大学体育学部 教

連携企業等: 授 体育学部学部古田

1_芯

期間: 令和7年9月19日15:00-17:00

対象: スポーツ教員

内容 ~主体性を促す指導・コーチング~

研修名: 学生の自立を促す指導2

国士舘大学体育学部 教

授 体育学部学部古田 仁志

連携企業等:

期間: 令和8年3月を予定

対象: スポーツ教員

内容 ~主体性を促す指導・コーチング~

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を 行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置 し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果 を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校 評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

(2) 中間子以に850 0子以前間の11 212 30項目	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	(1)教育理念·目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会会議における、本校の自己点検に対する評価委員からの主な意見と、それに対する本校の対応(活用)方法は以下のとおりです。

評価委員からは、留学生の増加に伴い、日本語学習の困難や文化的背景への配慮が必要であるとの指摘があり、非漢字圏の学生への対応や語学支援の強化が求 められています。また、英語圏以外の国々からの学生が増えていることを踏まえ、国際交流や交換留学制度の整備、Zoom等を活用した海外との交流機会の創出が 望ましいとの意見がありました。

2 教育内容・学習環境の向ト

委員からは、学生の作品の質が年々向上していることが評価される一方で、医療分野におけるAI活用など、より実践的な教育内容の充実が求められています。また、 番組制作やカメラ・照明などの職人的分野では、現場での学びが重要であり、専門学校としての強みを活かすべきとの指摘がありました。加えて、教職員のデジタル 知識の向上が必要であるとの意見も示され、ICT活用の推進が課題とされています。

地域連携・社会とのつながり

地域との連携については、ボランティアやアルバイトなど地域密着型の活動を経験している学生が多く、これを学校の特色として活かすべきとの指摘がありました。ま た、地域のスポーツ団体とのマッチング機会の創出や、予算面での課題を踏まえた地域活動の工夫が求められています。

4. 多様な学習者・進路支援への対応

委員からは、総合型人試を活用する学生の増加や、資格取得を通じた進学支援の必要性が指摘されました。さらに、社会人が専門学校で学び直す際には、資格取 得が可能な環境整備や、異なる年齢層が共に学ぶことによる相互刺激の価値を重視すべきとの意見があり、多様な学習者に対応する柔軟な教育体制の構築が求め られています。

5 学生支援・メンタルヘルスの充実

学生が安心して学べる環境づくりに向けて、メンタルヘルス支援の充実が必要であるとの指摘がありました。言葉の掛け方によって学生の反応が変わることから、教 職員の対応力向上も重要視されています。また、健康面での支援体制の強化や、個々の学生に応じた支援のあり方についても、今後の検討課題として挙げられてい

以上の内容を踏まえ、学校関係者評価委員会において討議された事項に基づき、次の5項目について検討を行い、今後の取組に活用してまいります。

- 日本語教育の強化や海外との交流機会の創出、国際連携の推進など、留学生がより学びやすい環境づくりについて今後の整備を検討します
- 地域企業や団体との協働、地域イベントへの参加促進などを通じて、学生の実践力育成と学校の地域貢献を目指す取り組みを模索しています。
- 教職員のICTスキル向上や授業のデジタル化、学生成果の外部発信など、教育の質を高めるための環境整備を段階的に実施していきます。 社会人や非全日制学生への柔軟な学習支援、資格取得支援制度の整備など、多様な学びのニーズに応える体制づくりを今後の課題としています。
- メンタルヘルス支援や多言語対応、個別支援の充実など、学生が安心して学べる環境の構築に向けた取り組みを引き続き検討していきます。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社)	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	卒業生/企 業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 専務理事	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	地域関連
山本 哲志	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 管理センター 総務部長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務 局長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
才丸 大介	株式会社カオルデザイン 取締役 マーケティング戦略室 室長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
矢野 俊宏	株式会社田中建設 取締役 営業本部長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
池田 つぐみ	NPO法人日本ストレッチング協会 理事	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野循環器病院 事 務長	令和7年4月1日~ 令和8年3月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: URL:https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を 提供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

27. 专门于区120317 0情报提供专一03.74110周9	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員·教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設•設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価、令和6年度の項目別の自己評価表
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 (ホームページ・

広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL:https://www.neec.ac.jp/public/

URL: URL:https://www 公表時期: 今和7年9月30日

授業科目等の概要

	(±	芸術	専門	課程 スポーツ健康学科	スポーツビジネスコース)											
	必	分選択必修	自由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	業方演習	実験・	校内	校		人	等と
1	0			キャリアデザイン	自己のキャリア形成に必要な目標設定や自己分析の方法、業界関連の情報収集の方法、企業に求められるスキルの獲得方法と向上させる方法を学び、個人に合わせたキャリアデザインを行います。	1	30	2	\bigcirc			0		0		
2	0			ビジネススキル1	社会人として求められるヒューマンスキル を身につけます。	1	30	2	0			0		0		
3	0			PC活用1	ビジネス実務上、必須となるWordの基本的な使用方法とその応用について学びます。	1	30	2		0		0			0	
4	0			ビジネスプレゼン テーション 1	自分を取り巻く諸事情を理解するため必要な言語的、数学的思考法についての復習を行い、社会人として求められるヒューマンスキルの習得を目指します。	1	30	2	0			0		0		
5	0			企業・業界研究	変革を続けるスポーツ業界の中で、企業が 求める人材像の変化について学びます。	1	30	2	0			0		0		
6	0			デジタルマーケティ ング 1	最新のデジタルテクノロジーを使った顧客 とのエンゲージメント方法やコミュニケー ション手法を学習します。	1	30	2	0			0			0	
7	0			スポーツプロジェク ト 1	イベント企画・提案を行うための基礎的な 知識を身につけながら、地域スポーツやア ウトドア実習等と関連させたレクリエー ションアクティビティの企画・提案を行い ます。	1	120	8		0		0		0	0	0
8			0	販売士検定対策講座	販売士検定資格の取得に向けた試験対策授 業を行います。	1	30	2	0			0			0	
9			0	スポーツイベント検 定対策講座	日本イベント産業振興協会が認定するスポーツイベント検定の資格取得を目標とし、より適切で効果的なイベントを実施するために必要な基礎知識について体系的に学びます。	1	30	2	0			0			0	
10	0			スポーツ実技 1	各球技種目の特性やルールを理解しながら、基礎技術からゲームまで指導を受けながら各種目を体験します。	1	30	1			0	0			0	
11			0	レクリエーションス ポーツ	スポーツ指導の現場でのレクリエーション の考え方と、さまざまな場面での運動方法 を学びます。	1	30	1			0	0		0		
12		0		インターンシップ 1	ボランティア活動等に参加し、就職活動に 有益となる業界知識の取得や業務内容の体 験を行います。必※	1	90	3			0		0	0		
13			0	フィンワーク実習	プールにて3点セット(マスク、フィン、スノーケル)を使用し、フィンワーク(泳ぎ方、素潜り)技術を養います。	1	30	1			0	0			0	
14	0			ビジネススキル2	社会人として求められるヒューマンスキル を身につけます。	1	30	2	0			0			0	
15	0			P C 活用 2	ビジネス実務上、必須となるExcelの基本 的な使用方法とその応用について学びま す。	1	30	2		0		0			0	

1.0														
10	0		ビジネスプレゼン テーション 2	自分を取り巻く諸事情を理解するため必要な言語的、数学的思考法についての復習を行い、社会人として求められるヒューマンスキルの習得を目指します。	1	30	2	0			0		0	
17		0	スポーツ用品論	スポーツ産業を構成する諸産業に分解し、 特にスポーツ用品の小売り業に焦点をあ て、産業構造、商品特性、流通のしくみに ついて解説します。	1	30	2	0			0		0	
18	0		デジタルマーケティング 2	SNSやデジタルメディアを駆使したマーケティング戦略を理解し、スポーツイベントやオンラインイベンの企画や運営への活用方法を学びます。	1	30	2	0			0			0
19	0		販売・マーケティン グ理論 1	販売に関する商品知識、接客技術を身に付け、実際のモノ作りやブランド作成を行います。	1	30	2	0			0		0	
20	0		スポーツプロジェク ト 2	スポーツプロジェクト1の授業内で作成した計画を実施します。イベント実施への発想から実施運営までの一連の流れを経験しながら、参加機会の提供の実践的ノウハウを身につけます。	1	120	8		0		0	0	0	0
21	0		MOS対策	マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) の取得に向けた試験対策授業を行います。	1	30	2	0			0			0
22	0		スポーツ実技 2	各球技種目の特性やルールを理解しながら、基礎技術からゲームまで指導を受けながら各種目を体験します。	1	30	1			0	0		0	
23		0	スポーツボランティ ア実習 1	ボランティア活動等に参加し、業界知識の 習得や業務内容の体験を行います。選※	1	30	1			0		0	0	
24		0	スポーツ自由研究A	体育祭の実行委員経験をはじめ、スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。選※	1	30	1			0		0	0	
25		0	スポーツ自由研究B	紅華祭実習参加をはじめ、スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。選※	1	30	1			0		0	0	
26		0	キャンプインストラ クター実習 A	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。選※	1	30	1			0		0		0
27		0	マリン実習A	レベルに応じたサーフィン・ボディボード の基本技能を理解します。選※	1	30	1			0		0		0
28		0	初級ダイビング実習	スクーバダイビング「オープンウォーター」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。選※	1	30	1			0		0		0
29		0	スキー実習A	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。 選※	1	30	1			0		0		0
30		0	スノーボード実習A	レベルに応じたスノーボードの基本技能を 理解します。レベル別バッチ検定を実施し ます。選※	1	30	1			0		0		0
31		0	中級ダイビング実習	スクーバダイビング「アドバンスダイ バー」資格取得のために必要な知識技術に ついて、講義と海洋実習を通じて学びま す。選※	1	30	1			0		0		0
		\bigcirc	キャリアアップセミ	キネシオテーピングやストレッチングト	1	15	0			\bigcirc	0			0

		_									_				
33		\circ		キャリアアップセミ ナーB	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	1	30	1			0	0			0
34		0		キャリアアップセミ ナーC	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	1	45	1			0	0			0
35		0		キャリアアップセミ ナーD	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	1	60	2			0	0			0
36		0		短期海外研修 A	海外において人体解剖、テーピング、コン ディショニングなどの実習を体験し、最新 のトレーナー教育についての理解を深めま	1	60	2			0		0	0	
					す。選※										
37		0		MFCスタッフ実習 1	MFC (メディカルフィットネスセンター) スタッフとしてトレーニング指導、スポー ツクラブ運営などの実務経験を積んでいき ます。選※	1	120	4			0	0		0	
38	0			ビジネススキル3	社会人として求められるヒューマンスキル を身につけます。	2	30		0			0		0	
39				PC活用3	ビジネス実務上、必須となるPowerPointの 基本的な使用方法とその応用について学び ます。	2				0		0			0
40	0			スポーツプロジェク ト3	キャンパス周辺に存在する地域資源に関する情報を収集し、地の利を活用した健康増進に繋がるアクティビティプログラムの設計を行います。	2	150	10	0			0	0	0	
41	0			メディア活用企画・ 演習	インタビュー調査方法を例として取り上げ、読者や視聴者へのオーディエンス分析を行い、メディアコンテンツの生産方法とその報道過程を体験します。	2	60	4	0			0			0
42	0			簿記検定対策講座1	簿記資格受験に求められる基礎知識を習得 します。	2	30	2	0			0			0
43			0	スポーツトレンド研 究	時代とともに生み出される新しいスポーツ種目(例:SAP、eバイク、ライフキネティック、eスポーツなど)を取り上げながら、それらの種目に含まれるアクティビティ要素や運動効果を研究・体験しながら、これからのスポーツアクティビティの動向や方向性について学習します。	2	30	2	\bigcirc			0		0	
44	0			販売・マーケティン グ理論 2	販売に関する商品知識、接客技術を身に付け、実際のモノ作りやブランド作成を行います。	2	30	2	0			0		0	
45	0			映像・画像技術演習	商品のプロモーションや顧客とのコミュニケーションに有効な画像技術(例:ホームページ作成、パワーポイント作成、SNS、動画作成など)の活用方法について学びます。	2	30	2	0			0		0	
46	0			スポーツ実技3	各球技種目の特性やルールを理解しながら、基礎技術からゲームまで指導を受けながら各種目を体験します。	2	30	1			0	0		0	
47		0		インターンシップ2	ボランティア活動等に参加し、就職活動に 有益となる業界知識の取得や業務内容の体 験を行います。必※	2	60	2			0		0	0	
48	0			ビジネススキル4	社会人として求められるヒューマンスキル	2	30	2	0			0		0	
49	0			PC活用4	を身につけます。 PC活用1~3で習得した知識と技術を応用して、ビジネスプレゼンテーションに向けた資料作成と発表を行い、効果的なプレゼンテーション方法を学びます。	2	30	2		0		0			0
50			0	スポーツ社会学	健康増進、経済活性化、国際競技力の向上 といった日本のスポーツ振興に関わる政策 の方向性や人権や公正といったスポーツに 関わる法律や指針について学びます。	2	30	2	0			0			0

51	0			スポーツプロジェク ト4	キャンパス周辺に存在する地域資源に関する情報を収集し、地の利を活用した健康増進に繋がるアクティビティプログラムの設計を行います。	2	150	10	0		0	0	0		
52			0	簿記検定対策講座2	簿記検定3級資格受験に向けた専門的知識 を習得します。	2	30	2	0		0			0	
53	0			スポーツ実技4	各球技種目の特性やルールを理解しながら、基礎技術からゲームまで指導を受けながら各種目を体験します。	2	30	1		0	0		0		
54	0			成果発表	卒業展示会に向けた成果発表のための資料 展示および発表準備を実施します。	2	60	4	0		0		0		
55		0		内定先研修	スポーツ関連企業での就業体験を行います。選※	2	60	2		0		0	0		
56		0		スポーツ自由研究C	体育祭の実行委員経験をはじめ、スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、 実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。選※	2	30	1		0		0	0		
57		0		スポーツ自由研究D	紅華祭実習参加をはじめ、スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。選※	2	30	1		0		0	0		
58		0		キャンプインストラ クター実習 B	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。選※	2	30	1		0		0	0		
59		0		マリン実習B	レベルに応じたサーフィン・ボディボード の基本技能を理解します。選※	2	30	1		0		0	0		
60		0		スキー実習 B	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。 選※	2	30	1		0		0	0		
61		0		スノーボード実習B	レベルに応じたスノーボードの基本技能を 理解します。レベル別バッチ検定を実施し ます。選※	2	30	1		0		0	0		
62		0		キャリアアップセミ ナーE	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	2	15	0		0	0			0	
63		0		キャリアアップセミ ナーF	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	2	30	1		0	0			0	
64		0		キャリアアップセミ ナーG	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	2	45	1		0	0			0	
65		0		キャリアアップセミ ナーH	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して、資格取得をめざします。選※	2	60	2		0	0			0	
66		0		短期海外研修B	海外において人体解剖、テーピング、コンディショニングなどの実習を体験し、最新のトレーナー教育についての理解を深めます。選※	2	60	2		0		0		0	
67		0		MFCスタッフ実習 2	MFC (メディカルフィットネスセンター) スタッフとしてトレーニング指導、スポー ツクラブ運営などの実務経験を積んでいき ます。選※		120			0	0		0		
68		0		スポーツボランティ ア実習 2	ボランティア活動等に参加し、業界知識の 習得や業務内容の体験を行います。選※	2	30	1		0		0	0		
		•	•	合計	68	£	· 🛮		9	940時間	i ii	4位	(畄ん	ケ昨日	目)

合計	68 科目	2940時間 単位(単位時間)
		143単位

卒業要件及び履修方法	授業期間	『 等
卒業要件: 卒業時に必修科目1500時間(91単位)および選択科目200時間(6単位)以上取得し、合計1700時間(97単位)以上取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 1年次は必須750時間、選択科目100時間以上履修すること。 2年次は必須750時間、選択科目100時間以上履修すること。	1 学期の授業期間	15 週

選択科目の履修方法 1年次は必修2時間、選択科目2時間以上履修すること 2年次は必修時間、選択科目時間以上履修すること 必選別の後の※印があるものは授業時間割外で実施